

JVCケンウッド 決算説明資料

2024年3月期 第1四半期 (IFRS)

株式会社JVCケンウッド

2023年8月1日



- * 本資料の数値は全てIFRS（国際財務報告基準）となっています。
- * 本資料における比率・差額については、円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入しています。

■ 1Qは前年同期比で大幅な増収増益

- ✓ M&Tは、OEMの販売が前期1Qに発生した上海ロックダウンの影響から回復
- ✓ S&Sは、前期に引き続き無線システムの販売が非常に好調に推移
- ✓ ESは、メディアの販売が前期1Qに実施した生産移管による生産減影響から回復

■ 2024年3月期通期業績予想

- ✓ 1Q実績は想定を上回ったが、現時点では通期連結業績予想の修正は行わない

1. 2024年3月期 1Q決算概況
 2. 2024年3月期 通期業績予想
 3. トピックス
- ＜参考資料＞

1. 2024年3月期 1Q決算概況

2. 2024年3月期 通期業績予想

3. トピックス

＜参考資料＞

2024年3月期1Q決算 全社実績

(億円)

	'21/3期 1Q	'22/3期 1Q	'23/3期 1Q	'24/3期 1Q	前年比	
売上収益	511	645	720	856	+ 136	+18.9%
売上原価	387	473	532	594	+ 62	+11.7%
売上総利益	125	172	188	262	+ 74	+39.1%
利益率	24.4%	26.7%	26.2%	30.6%		
事業利益^{※1}	△ 31	3.7	4.4	50	+ 46	1,037.9%
利益率	-	0.6%	0.6%	5.9%		
その他の収益・費用、為替差損益等	0	25	1	△ 0	△ 1	-
営業利益	△ 31	29	5	50	+ 45	+871.3%
利益率	-	4.5%	0.7%	5.9%		
税引前利益	△ 31	28	5	49	+ 43	+802.7%
親会社の所有者に帰属する						
四半期利益	△ 36	15	△ 2	35	+ 37	-
EBITDA^{※2}	18	77	50	95	+ 45	+89.4%
EBITDAマージン	3.6%	11.9%	7.0%	11.1%		

※1:売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除することにより算出され、主として一時的な要因からなる、その他の収益、その他の費用、為替差損益などを含まない。
2024年3月期より従来の「コア営業利益」から「事業利益」に名称変更

※2:税引前利益 + 支払利息 + 減価償却費 + 減損損失で計算

		'21/3期					'22/3期					'23/3期					'24/3期					
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	
損益為替レート	1米ドル	108	106	105	106	106	110	110	114	116	112	130	138	141	132	135	137					
	1ユーロ	119	124	125	128	124	132	130	130	130	131	138	139	144	142	141	150					

(円)

2024年3月期1Q決算 分野別の状況

M&T : モビリティ&テレマティクスサービス分野
 S&S : セーフティ&セキュリティ分野
 ES : エンタテインメントソリューションズ分野

(億円)

		'21/3期 1Q*	'22/3期 1Q	'23/3期 1Q	'24/3期 1Q	前年比	
M&T	売上収益	290	387	439	473	+ 35	+7.9%
	事業利益	△ 16	2	△ 3	4	+ 7	-
S&S	売上収益	105	126	140	220	+ 81	+57.7%
	事業利益	△ 15	△ 4	7	41	+ 34	+472.6%
ES	売上収益	106	119	129	140	+ 12	+9.0%
	事業利益	1	6	△ 1	5	+ 6	-
その他	売上収益	10	14	13	22	+ 9	+69.7%
	事業利益	△ 1	△ 0	1	△ 0	△ 1	-
合計	売上収益	511	645	720	856	+ 136	+18.9%
	事業利益	△ 31	4	4	50	+ 46	+1037.9%

※ '21/3期のM&Tの実績には、'22/3期に編入したテレマティクスサービス事業を含む。

M&T

OEMは、国内用品の販売が前期1Qに発生した上海ロックダウンの影響から回復、スピーカー・アンプ・ケーブルなどの販売堅調などから増収増益。アフターマーケットは在庫調整影響、テレマティクスサービスは販売減影響から、それぞれ減収減益

S&S

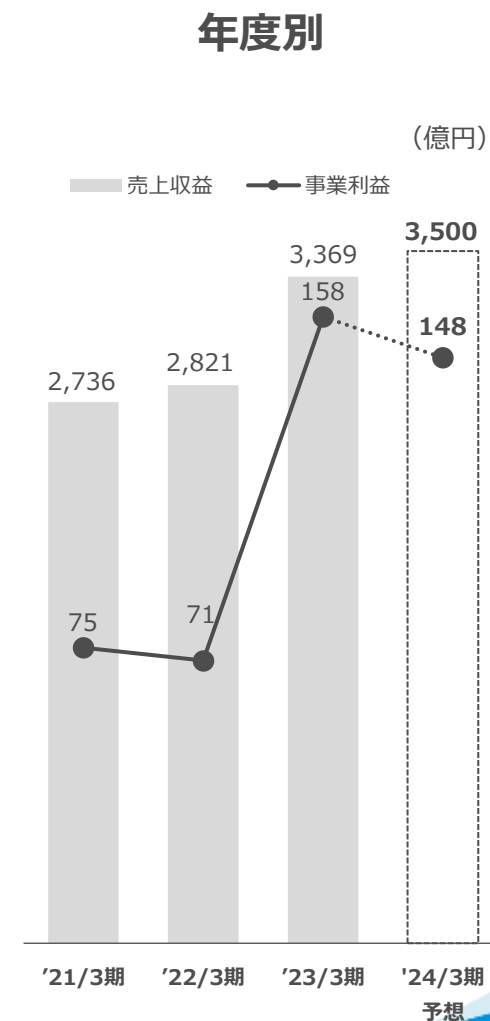
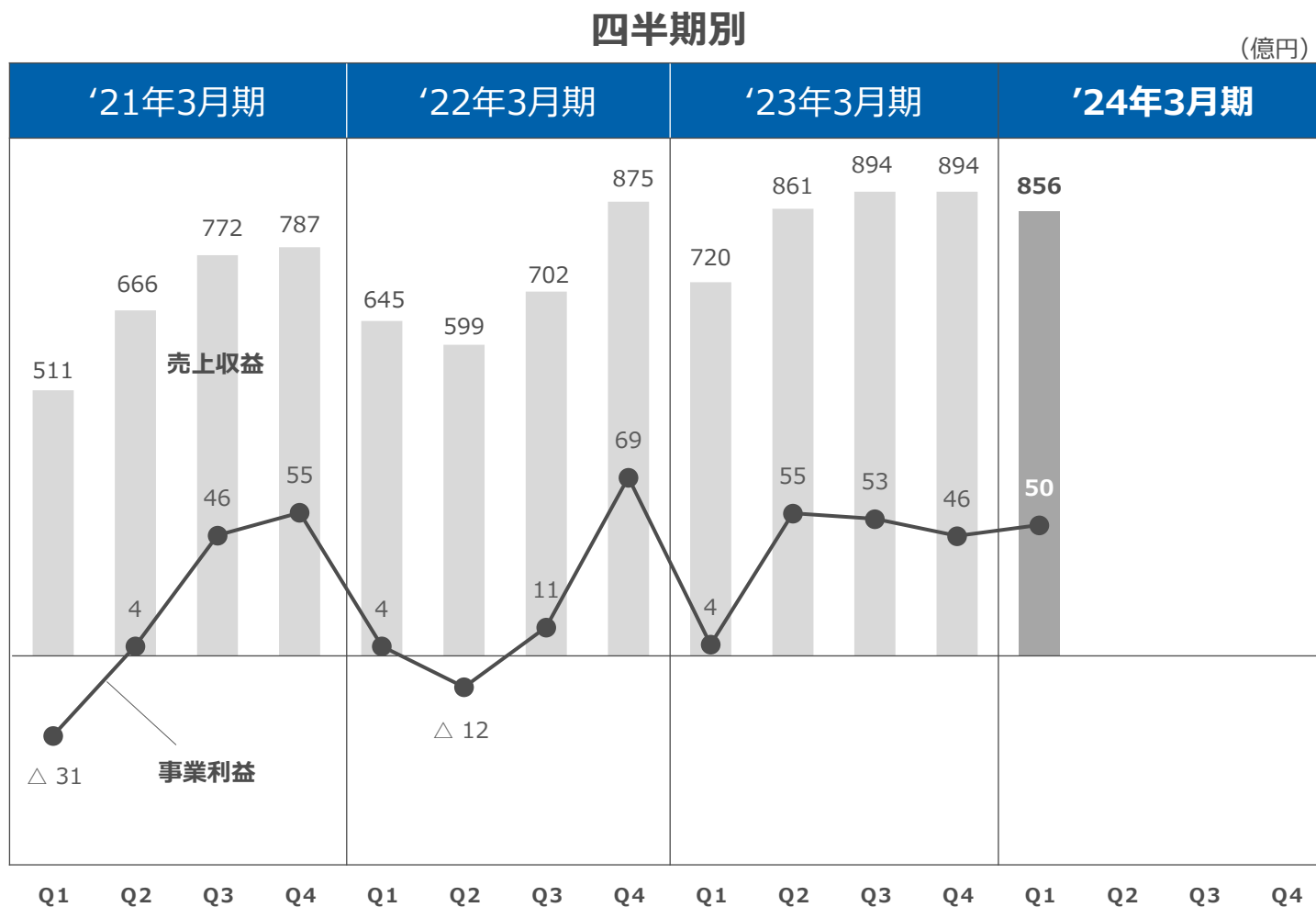
無線システムは、米国を始めとする海外市場で前期に引き続き販売が非常に好調に推移したことなどから、大幅な増収増益。業務用システムは、社会インフラ市場が回復傾向となり、増収、損失改善

ES

メディアは、前期1Qに実施した生産移管にともなう生産減の影響からプロジェクターの販売が回復し、増収増益。エンタテインメントは、コンテンツビジネスの販売が堅調に推移し、増収増益

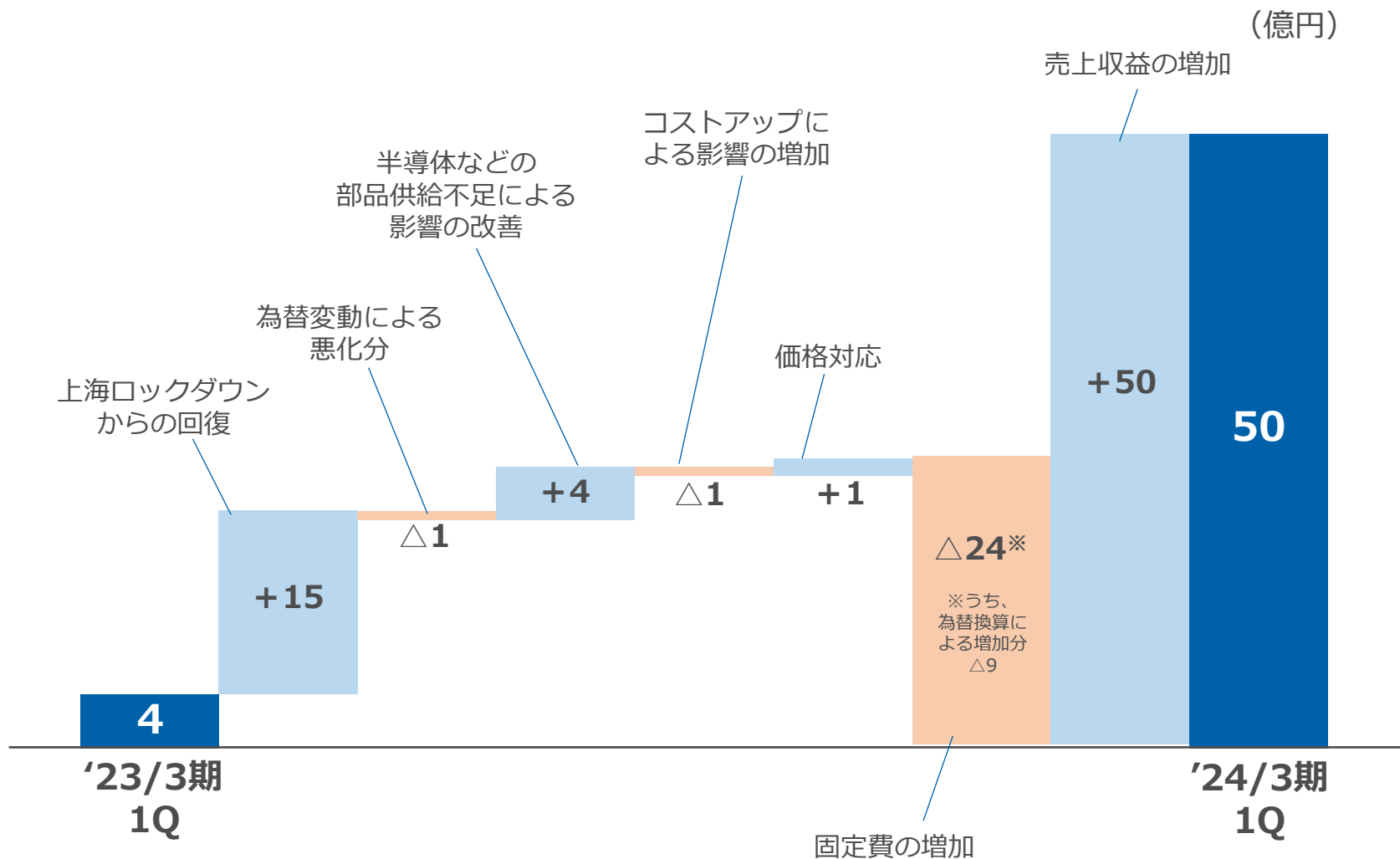
全社実績推移

- 1Q（4-6月）は、S&Sの無線システムの販売が前期に引き続き非常に好調に推移したこと、M&TのOEM、ESのメディア、エンタテインメントの販売が堅調に推移したことから、全社で大幅な増収増益



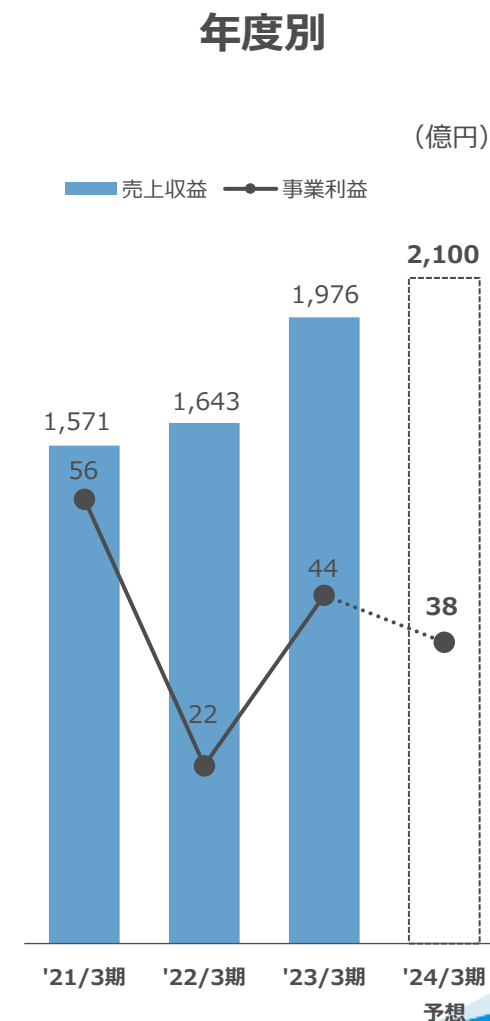
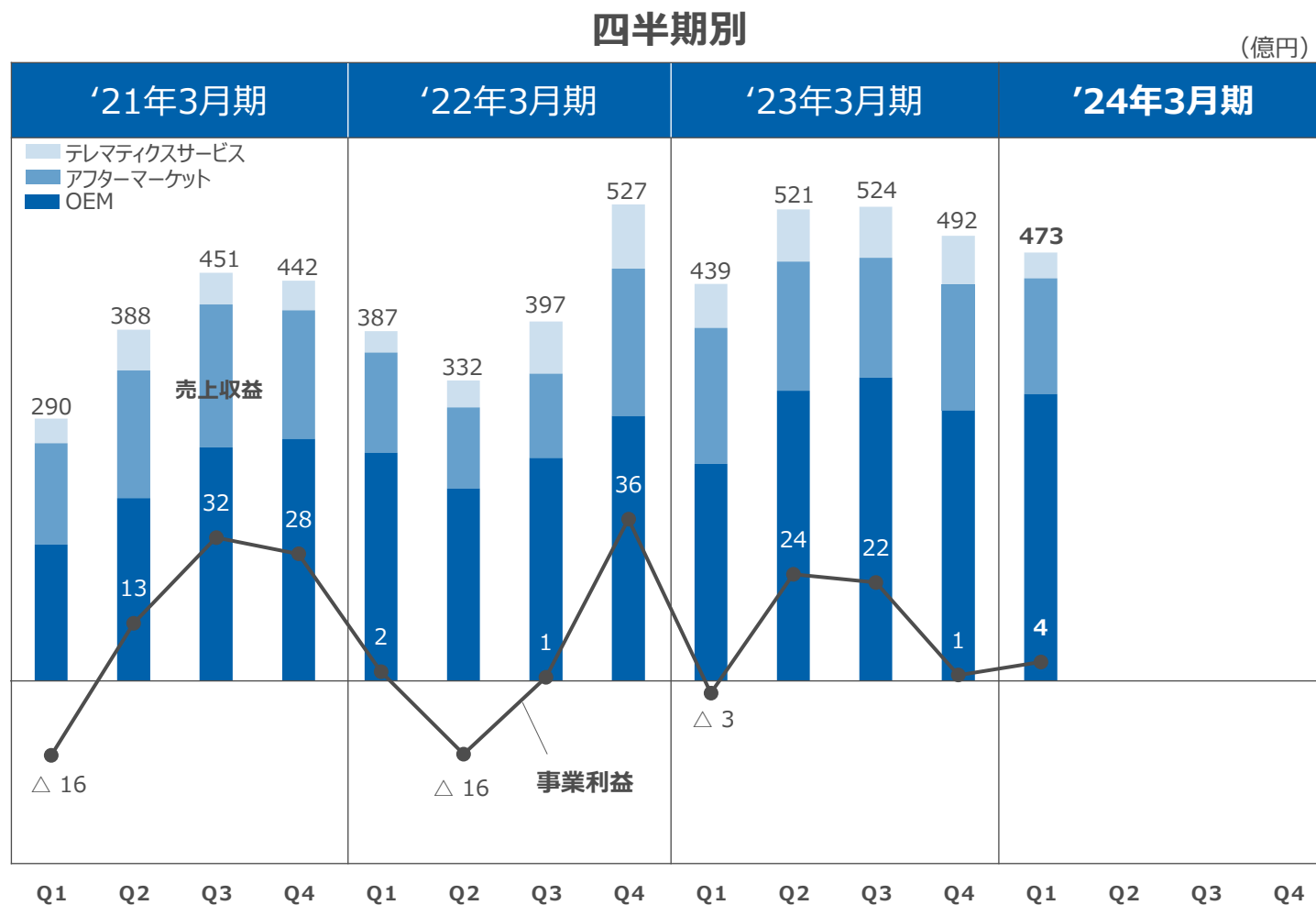
2024年3月期1Q決算 事業利益の増減要因

- 売上収益の大幅増や、上海ロックダウンからの回復、半導体などの部品不足影響の改善により、前期比で大幅増益



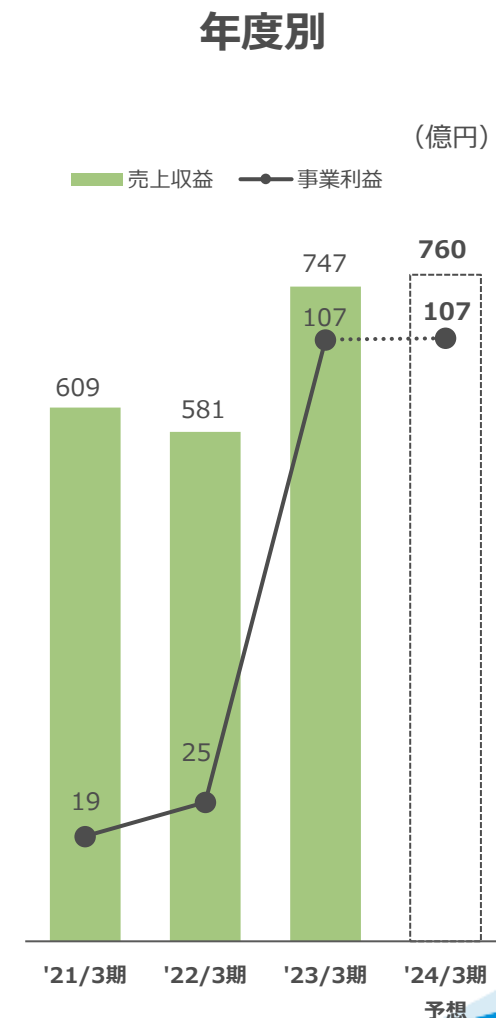
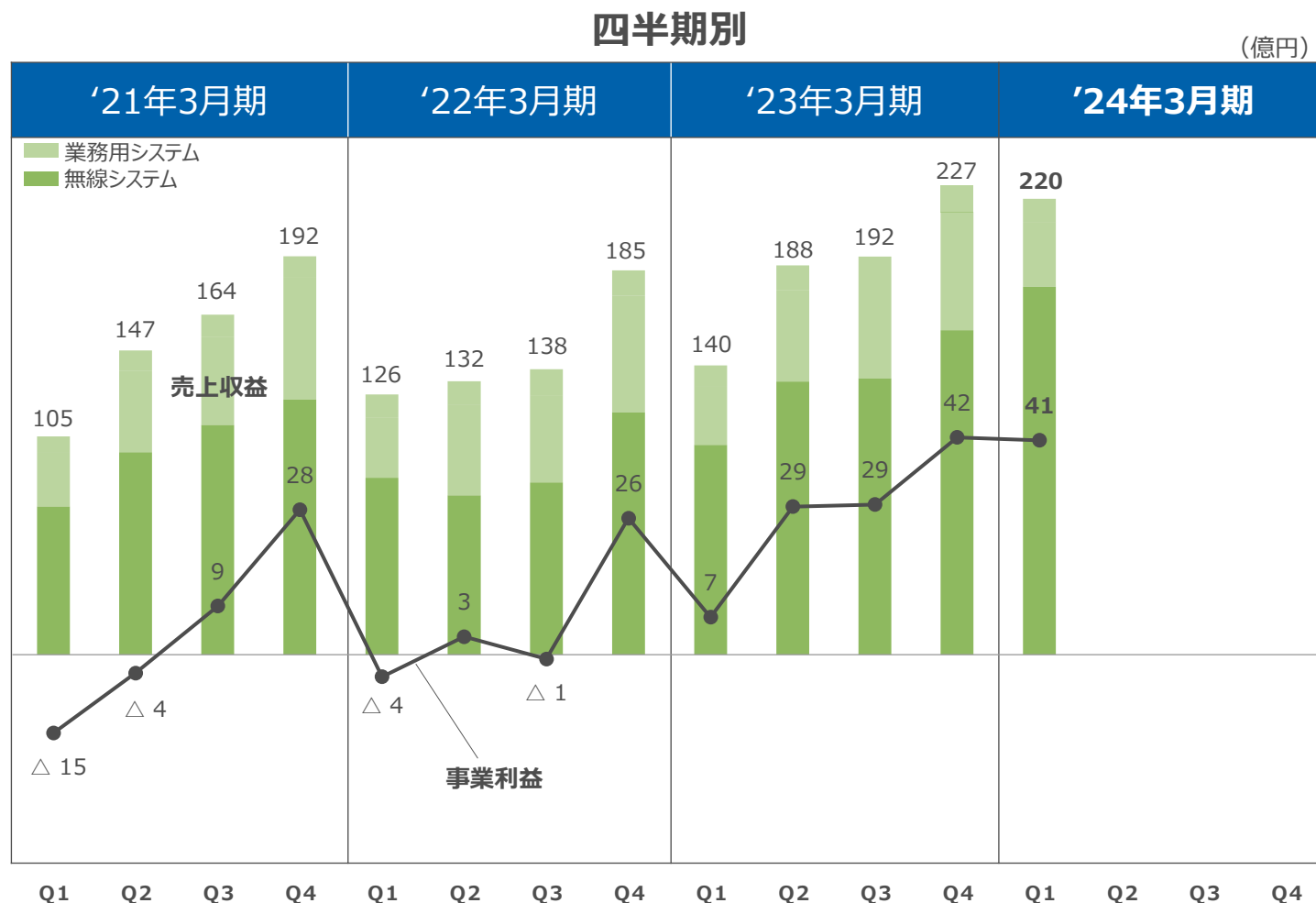
M&T分野 売上収益・事業利益推移

- 1Q（4-6月）は、OEMの前年同期の上海ロックダウン影響からの回復、スピーカー・アンプ・ケーブルなどの販売堅調から、分野全体で増収増益



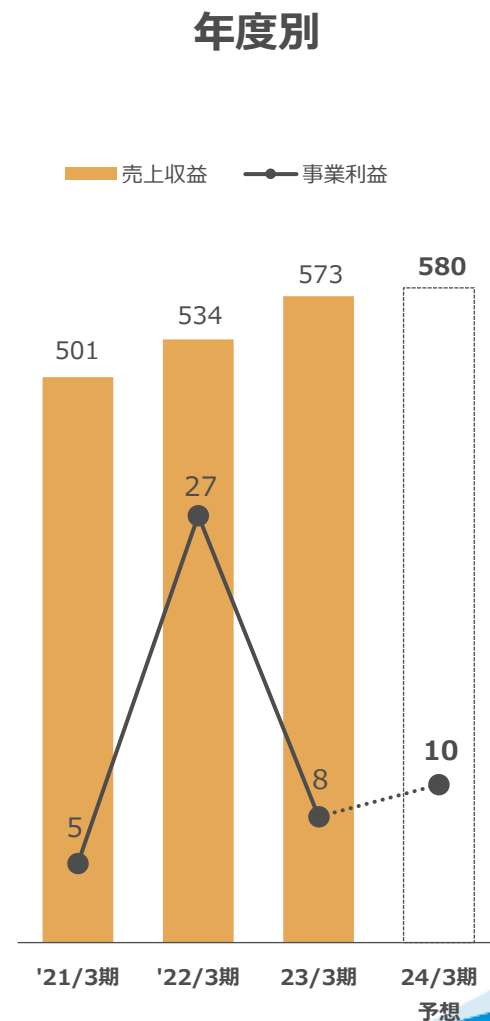
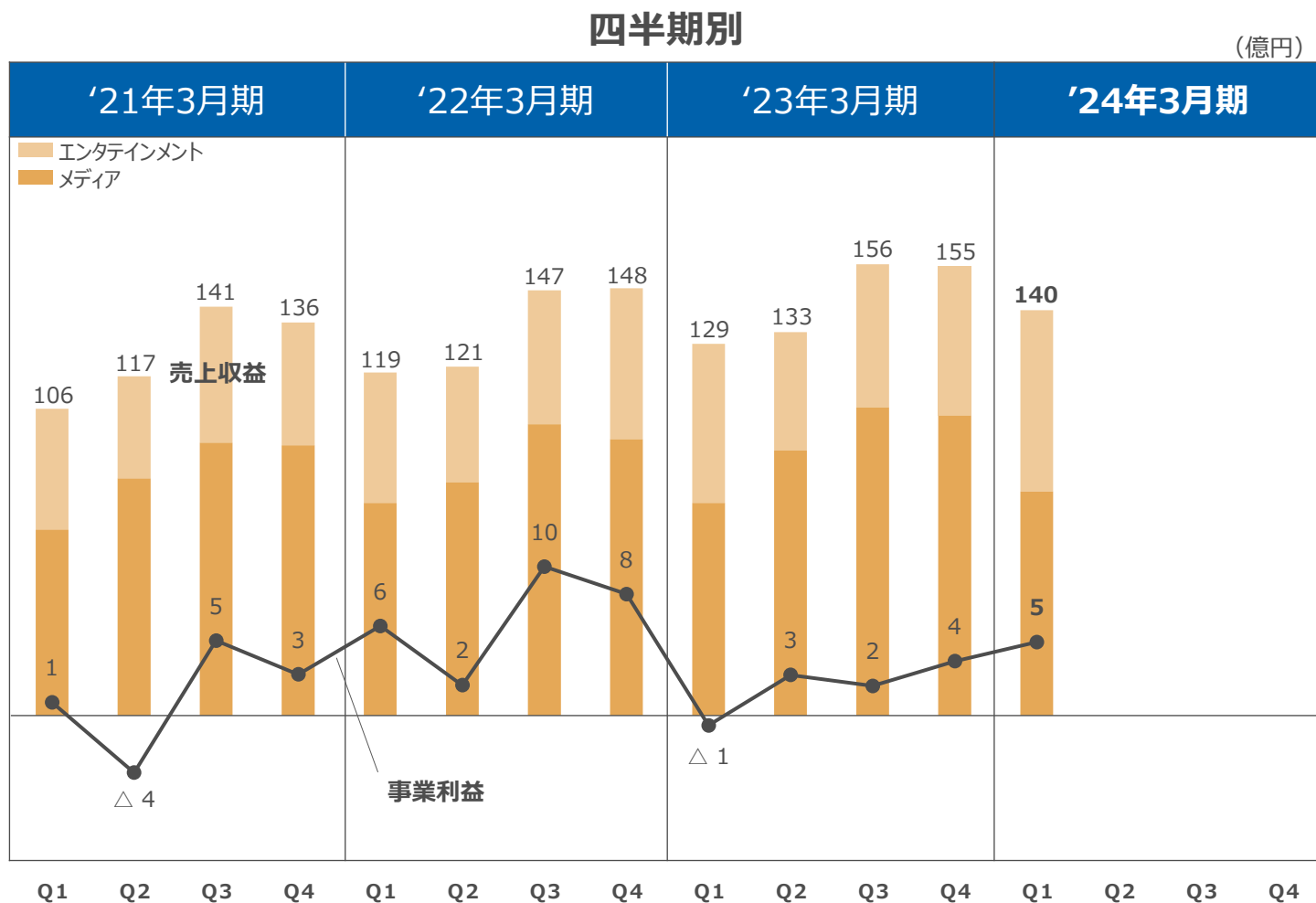
S&S分野 売上収益・事業利益推移

- 1Q（4-6月）は、無線システムは米国を始めとする海外市場での好調な販売継続、業務用システムは社会インフラ市場が回復傾向となり、分野全体で大幅増収増益



ES分野 売上収益・コア営業利益推移

- 1Q（4-6月）は、メディアは前年同期の生産移管にともなう生産減影響からの回復、エンタテインメントはコンテンツビジネスが堅調に推移し、分野全体で増収増益

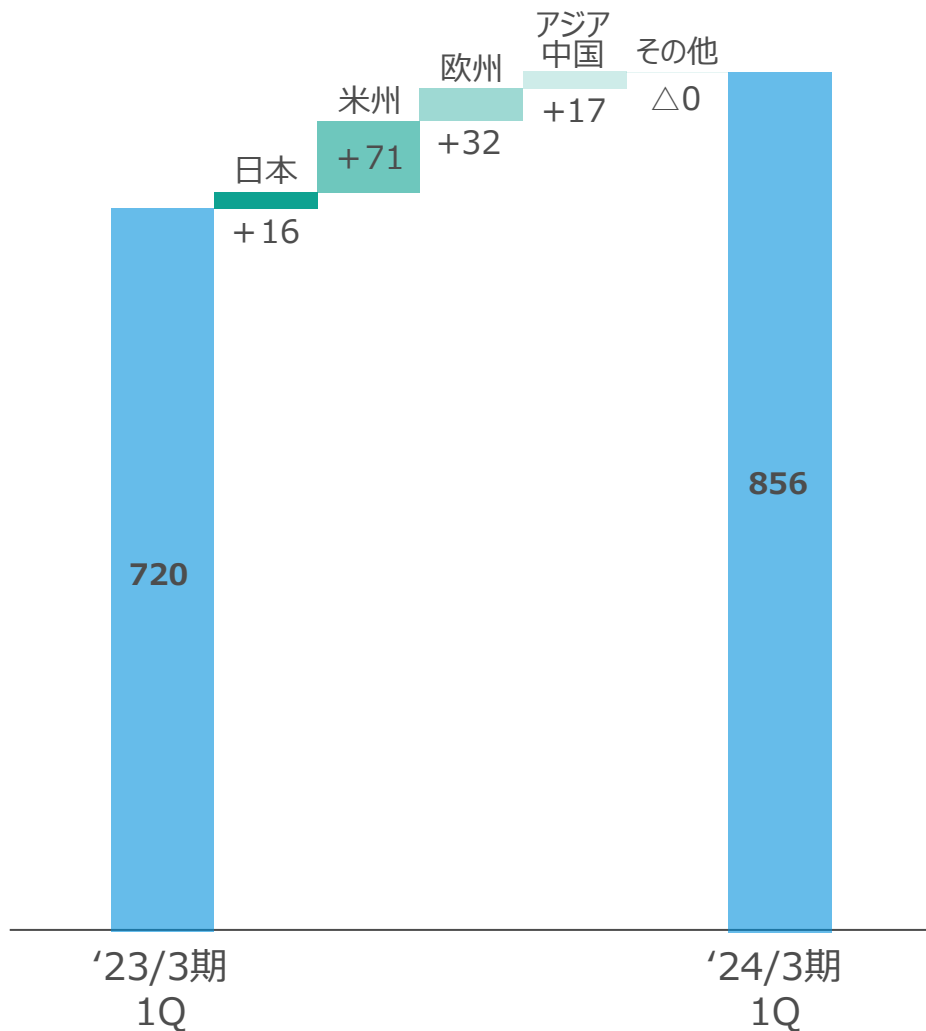


2024年3月期1Q決算 地域別連結売上収益

■ 無線システムの好調継続により、1Qは米州が大幅な増収

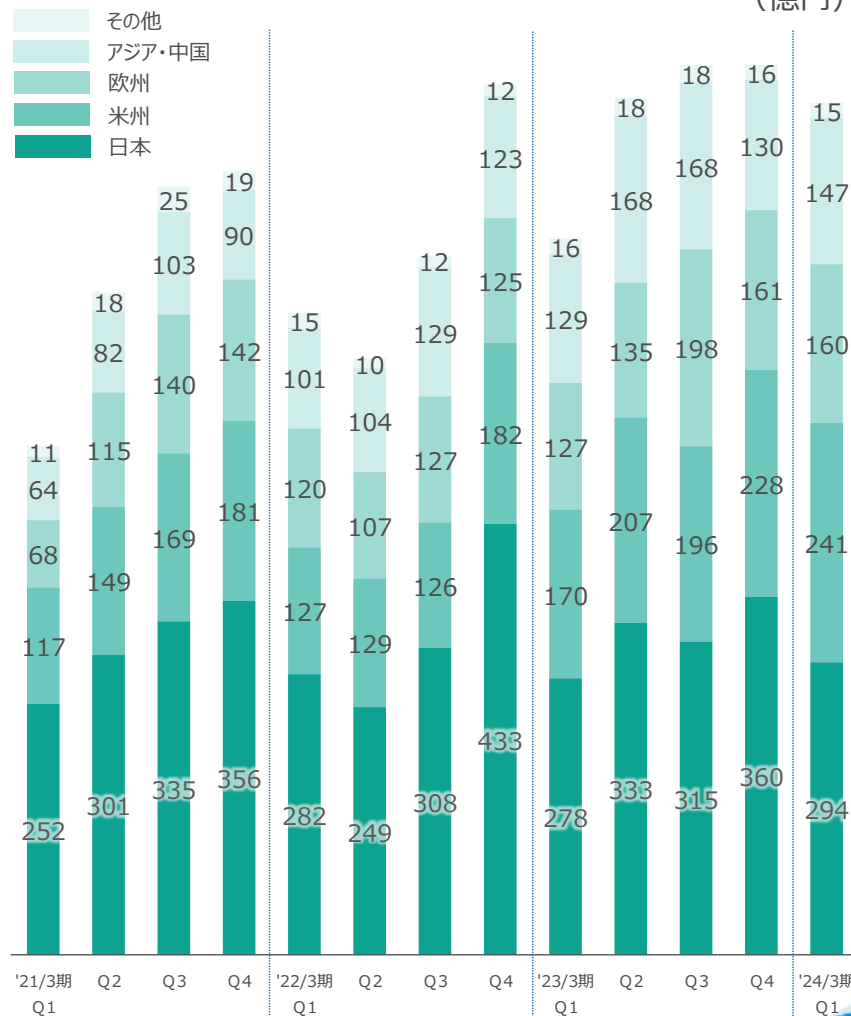
地域別増減

(億円)



地域別四半期推移

(億円)



2024年3月期1Q決算 連結損益サマリー

- 事業利益の増加により、すべての段階損益において大幅増益

(億円)

	'21/3期 1Q	'22/3期 1Q	'23/3期 1Q	'24/3期 1Q	前年比
事業利益	△ 31.2	3.7	4.4	50.4	+ 46.0
その他の収益・費用、為替差損益等	0.5	25.0	0.7	△ 0.3	△ 1.0
営業利益	△ 30.7	28.7	5.2	50.1	+ 45.0
金融収支他	△ 0.3	△ 0.7	0.2	△ 1.4	△ 1.6
税引前利益	△ 31.0	28.0	5.4	48.7	+ 43.3
法人所得税費用	3.5	11.8	6.2	12.6	+ 6.4
非支配持分	1.3	1.5	1.7	1.4	△ 0.3
親会社の所有者に帰属する四半期利益	△ 35.8	14.7	△ 2.5	34.8	+ 37.2

2024年3月期1Q決算 財政状態サマリー

- 親会社の所有者に帰属する持分は、配当や自己株式取得による減少があったものの、利益剰余金とその他の資本の構成要素の増加により、前期末比で55億円増の1,043億円
- 株主還元に加え固定資産取得による支出があったことから、ネットデットは162億円と前期末比99億円増加。現預金は前期末比99億円減の462億円

(億円)

	'21/3期末	'22/3期末	'23/3期末	'23/3期1Q	前期末比
資産合計	2,643	2,808	2,994	3,071	+ 77
負債合計	1,958	1,968	1,956	1,971	+ 14
資本合計	685	840	1,037	1,100	+ 63
有利子負債	756	698	625	624	△ 1
ネットデット	159	211	63	162	+ 99
ネットD/Eレシオ (倍)	0.25	0.27	0.06	0.16	+ 0.10
親会社の所有者に帰属する持分	646	795	988	1,043	+ 55
親会社所有者帰属持分比率 (%)	24.5	28.3	33.0	34.0	+ 1.0

2024年3月期1Q決算 キャッシュ・フローサマリー

- 営業キャッシュ・フローは、税引前利益は増加したものの販売増による運転資金の増加や法人所得税支払いの増加により収入が減少
- 投資キャッシュ・フローは、主に開発用投資への支出で前期並みの実績
- 財務キャッシュ・フローは、配当増や自己株式の取得により支出が増加

(億円)

	'21/3期 1Q	'22/3期 1Q	'23/3期 1Q	'24/3期 1Q	前年比
営業活動によるキャッシュ・フロー	35	11	30	1	△ 28
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 32	19	△ 44	△ 45	△ 1
フリー・キャッシュ・フロー (営業活動によるキャッシュ・フロー + 投資活動によるキャッシュ・フロー)	3	30	△ 14	△ 43	△ 29
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 20	△ 34	△ 34	△ 82	△ 48
合計	△ 18	△ 5	△ 48	△ 125	△ 77

1. 2024年3月期 1Q決算概況

2. 2024年3月期 通期業績予想

3. トピックス

<参考資料>

2024年3月期 通期業績予想

- 1Qは、S&Sの無線システムが、米国を始めとする海外市場において、前期に引き続き販売が非常に好調に推移したことなどにより、全社では期初の想定を上回る実績
- 2Q以降についても引き続き好調な販売が見込まれるが、現時点では連結業績予想の修正は行わない

(億円)

	'21/3期 実績	'22/3期 実績	'23/3期 実績	'24/3期 予想	前年比	
売上収益	2,736	2,821	3,369	3,500	+ 131	+3.9%
事業利益	75	71	158	148	△ 10	-6.5%
営業利益	49	91	216	134	△ 82	-38.1%
税引前利益	45	85	212	124	△ 88	-41.4%
親会社の所有者に帰属する当期利益	22	59	162	80	△ 82	-50.7%
ROE (%)	3.6	8.1	18.2	8.0	△ 10.2	-

(円)

		'21/3期 実績	'22/3期 実績	'23/3期 実績	'24/3期 想定
損益為替レート	1米ドル	106	112	135	133
	1ユーロ	124	131	141	144

2024年3月期 通期業績予想（分野別の状況）

■ 期初予想からの変更は無し

(億円)

		'21/3期 実績※	'22/3期 実績	'23/3期 実績	'24/3期 予想	前年比
M&T	売上収益	1,571	1,643	1,976	2,100	+ 124
	事業利益	56	22	44	38	△ 6
S&S	売上収益	609	581	747	760	+ 13
	事業利益	19	25	107	107	+ 0
ES	売上収益	501	534	573	580	+ 7
	事業利益	5	27	8	10	+ 2
その他	売上収益	55	63	74	60	△ 14
	事業利益	△ 5	△ 3	△ 0	△ 7	△ 7
合計	売上収益	2,736	2,821	3,369	3,500	+ 131
	事業利益	75	71	158	148	△ 10

※ '21/3期のM&Tの実績には、'22/3期に編入したテレマティクスサービス事業を含む

1. 2024年3月期 1Q決算概況
2. 2024年3月期 通期業績予想
3. **トピックス**

＜参考資料＞

M&T分野 OEM事業の受注状況他

■ OEM事業にて2025年以降出荷予定の大型受注を獲得

■ 国内車両メーカー向け純正モデル初※の通信型ドライブレコーダー出荷開始

※ 2023年4月時点、当社調べ

■ 2023年12月の法令施行に向け、アルコール検知機の拡販活動を強化

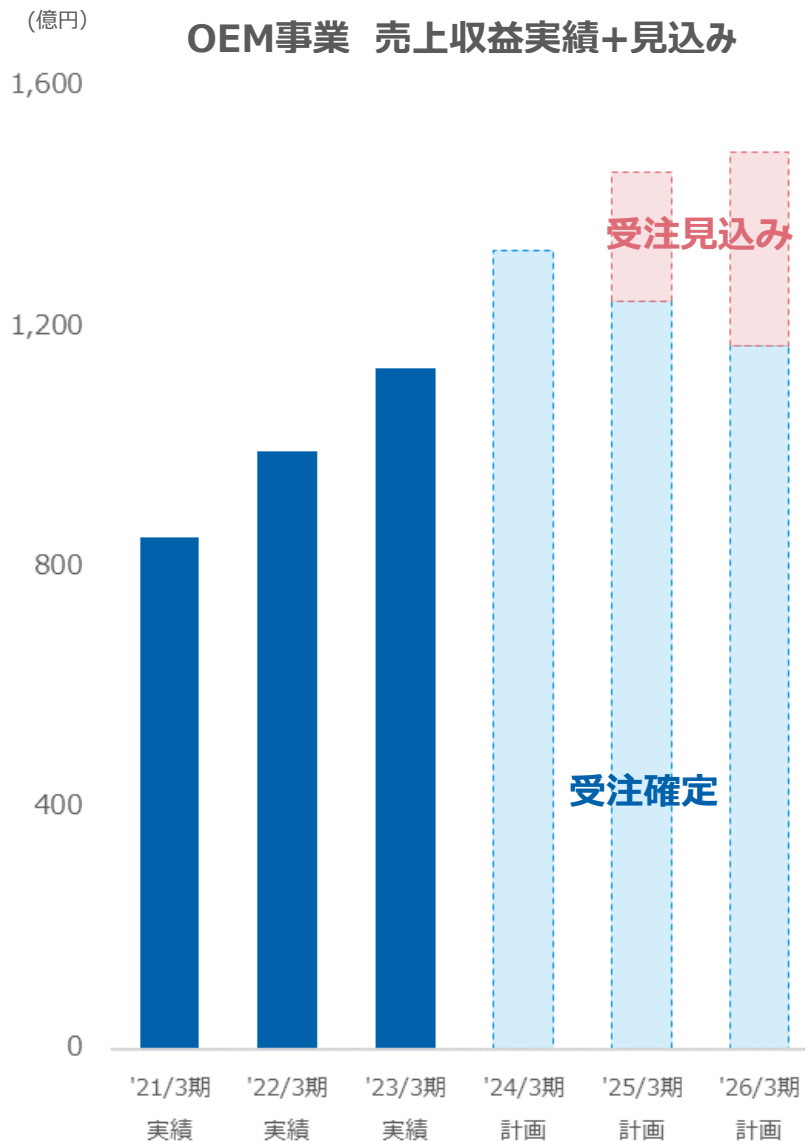
➤ 「自治体・公共Week2023 地域防災EXPO」(6月)に出展し、訴求



アルコール検知器
「CAX-AD300/AD100」



当社ブースイメージ

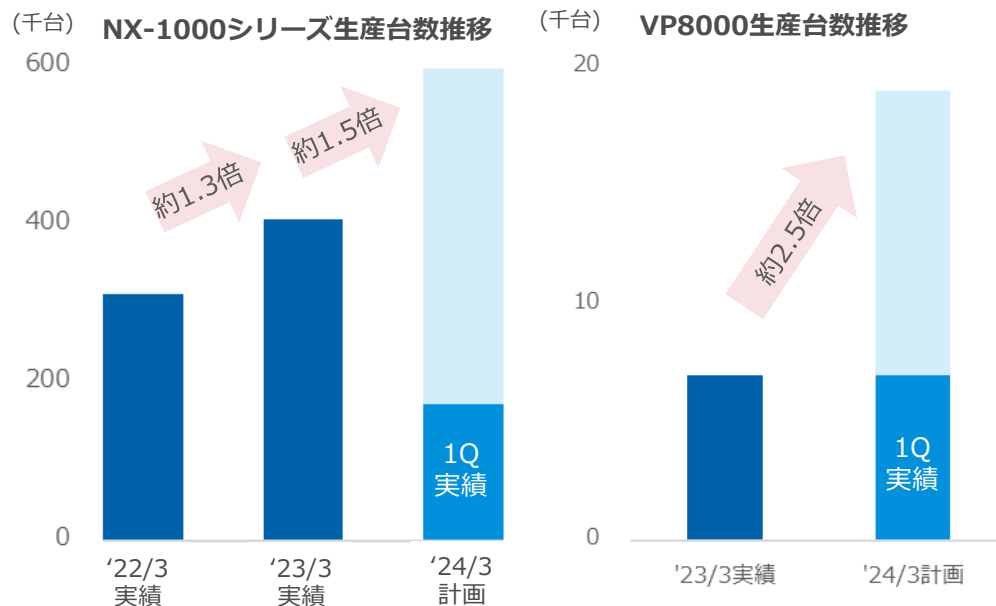
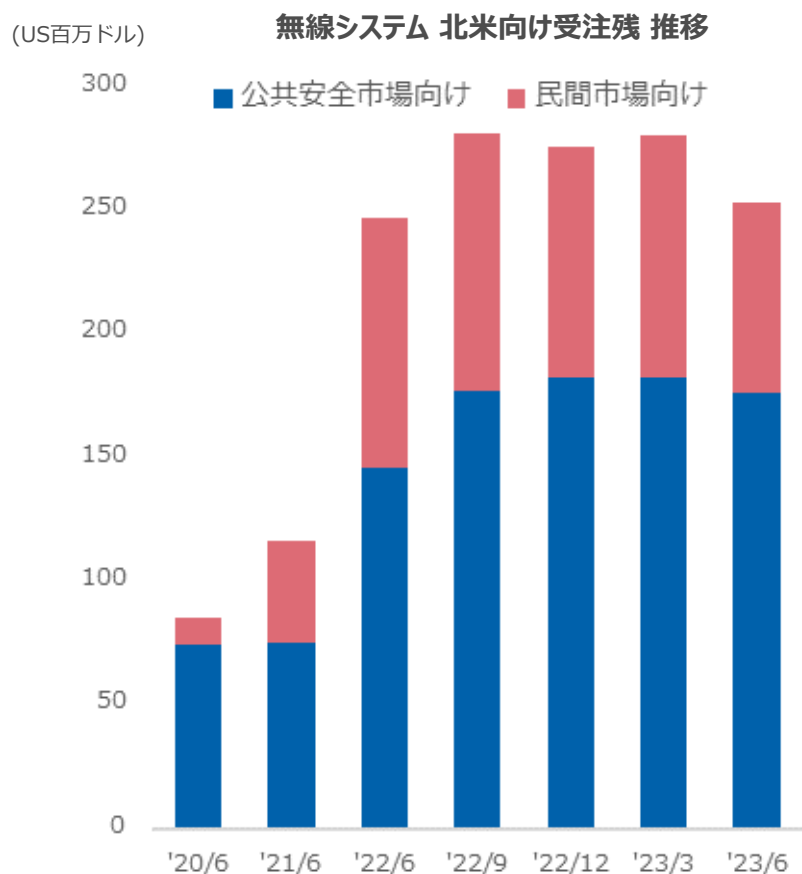


S&S分野 無線システム事業は引き続き堅調

- 民間市場向けの受注残は生産増強により順調に減少
- 公共安全市場向けは引き続き高い水準の受注残を継続

■ 需要拡大に対応した増産体制整備

- 民間市場向け（マレーシア工場）「NX-1000」生産台数は前年比約1.5倍予定
- 公共安全市場向け（山形工場）トライバンド対応モデル「VP8000」安定生産中



■ 米国無線子会社EFJT※での人員増強

- 新しい技術統括責任者を採用済
- 今期約20名採用予定（1Qで8名採用済）

※ EF Johnson Technologies, Inc.

■ ESG投資指数「FTSE Blossom Japan Index」、および「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に継続選定（7/28発表）



FTSE Blossom
Japan Index



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

■ 新医療事業の譲渡完了（8/1発表）

- ▶ クリエイティブナノシステムズ株式会社^{※1}の当社全保有株式を、シスメックス株式会社へ譲渡

※1:当社とシスメックス株式会社が、バイオデバイスの開発・製造を目的に共同設立（2018年10月）



■ Newエンタテインメント事業スタート（6/19発表）

- ▶ 『東京リベンジャーズ』のゲームとして初の3DアクションRPG^{※2}作品を
2023年冬サービス開始予定

※2:Role-playing game



© 和久井健・講談社/アニメ「東京リベンジャーズ」製作委員会

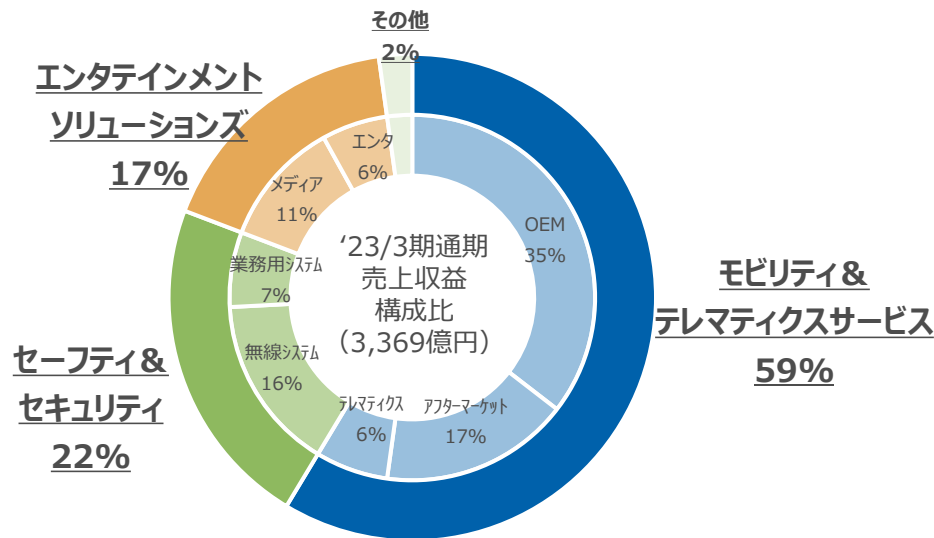
■ 約40億円の自己株式取得完了（6/9発表）

- ▶ 取得株式の総数 7,914,000 株
- ▶ 株式の取得価額の総額 3,999,988,800 円

JVCKENWOOD

<参考資料>

事業内容



セーフティ&セキュリティ分野 (S&S)

無線システム

業務用無線システム

小電カトランシーバー

業務用システム

セキュリティシステム

業務用放送システム

医用画像表示モニター

エンタテインメントソリューションズ分野 (ES)

メディア

ヘッドホン/イヤホン

オーディオシステム

プロジェクター

ポータブル電源

エンタテインメント

音楽・映像コンテンツ

モビリティ&テレマティクスサービス分野 (M&T)

OEM

カーナビゲーション

アルกอฮอล์検知器

車載用アンプ/アンテナ/スピーカー

カーオーディオ

電気自動車の再生バッテリーを利用したポータブル電源

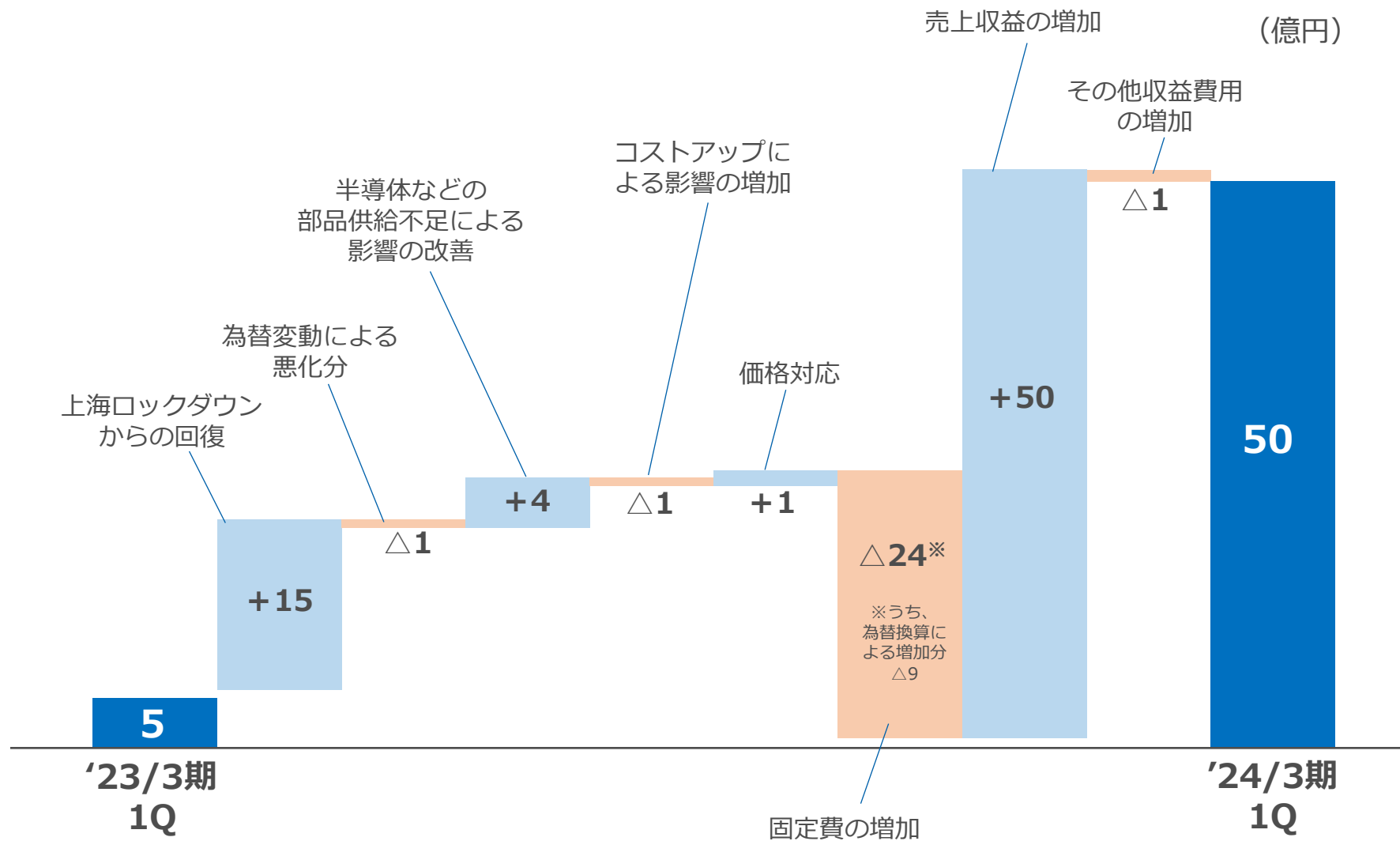
アフターマーケット

除菌消臭装置

ドライブレコーダー

テレマティクスサービス

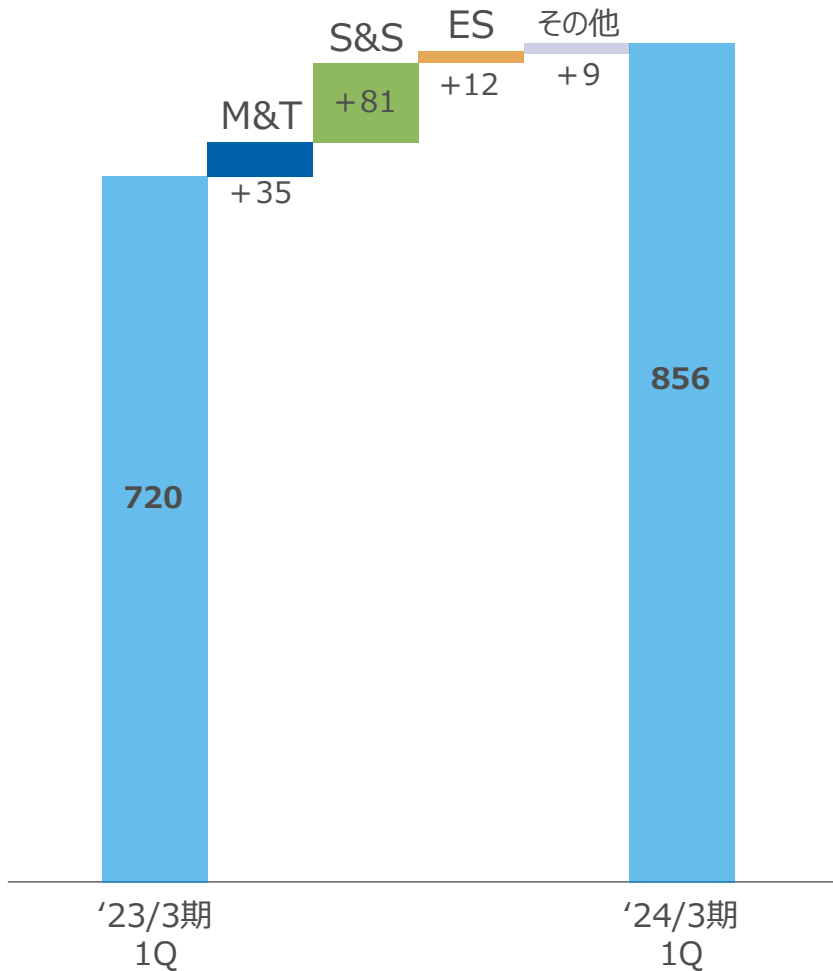
2024年3月期1Q決算 営業利益の増減要因



2024年3月期1Q決算 分野別連結売上収益・事業利益

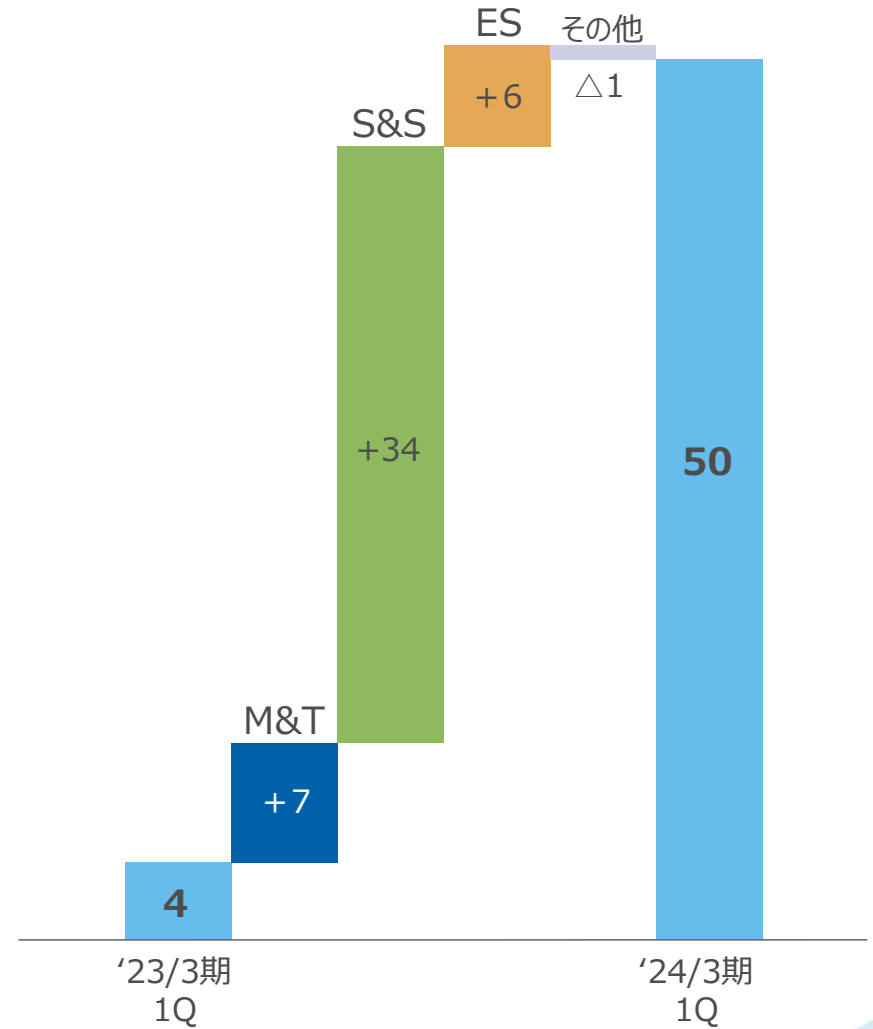
売上収益

(億円)



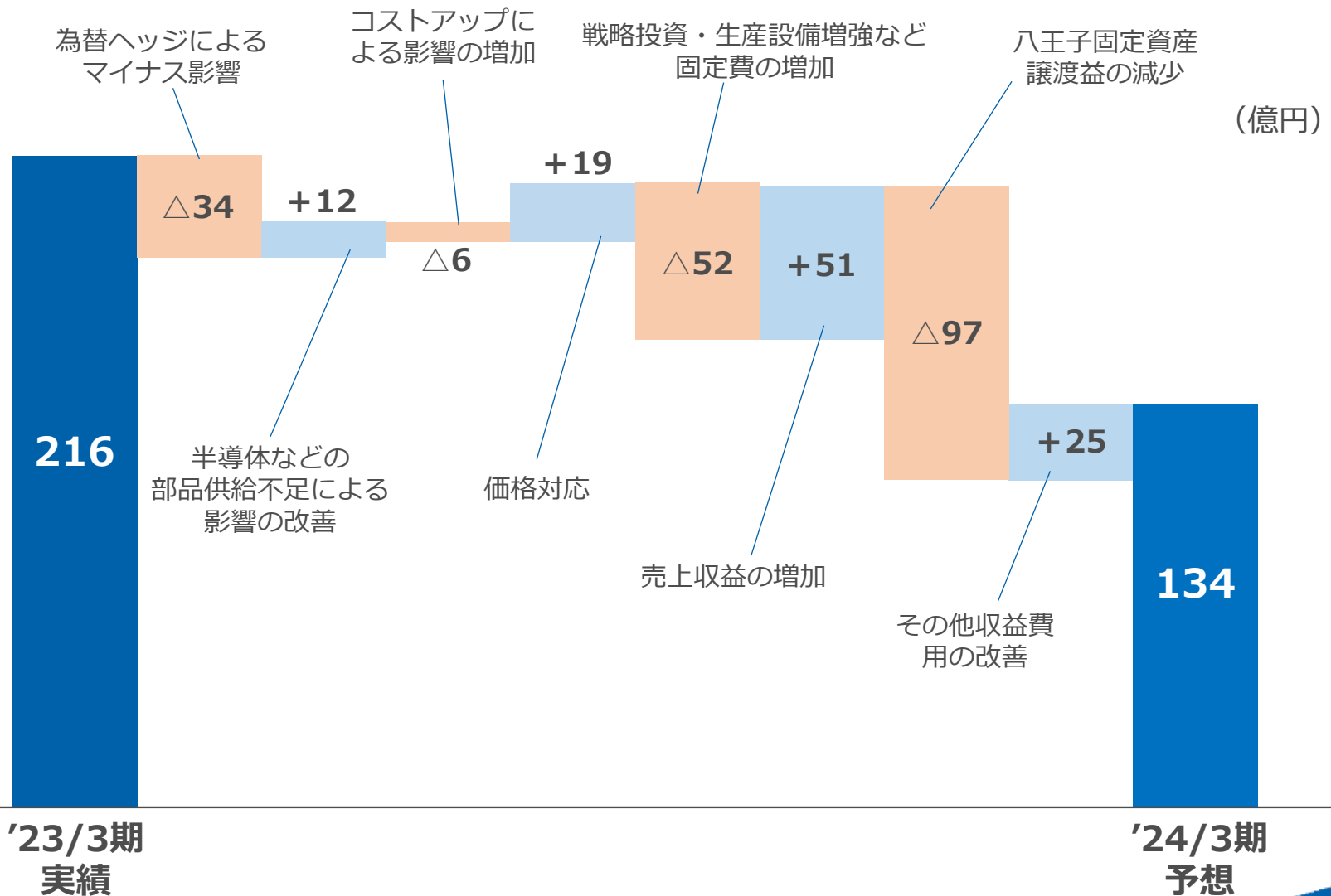
事業利益

(億円)



2024年3月期 通期業績予想（営業利益の増減要因）

■ 期初予想からの変更は無し



経営指標推移

設備投資・減価償却費・研究開発費推移

(億円)

	'21/3期					'22/3期					'23/3期					'24/3期					
	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	
設備投資* (有形+無形)	39	33	81	43	195	44	76	55	48	223	54	53	45	45	197	46					46
有形固定資産	17	9	57	19	103	22	52	30	20	124	33	30	28	23	114	26					26
無形固定資産	21	24	23	24	93	22	24	26	28	100	21	23	17	21	83	20					20
減価償却費	47	49	49	49	193	46	43	41	41	171	42	44	44	46	176	44					44
研究開発費	40	40	38	40	157	40	39	38	41	159	40	41	43	51	174	45					45

※ 有価証券報告書には、有形固定資産のみを記載

地域別売上収益推移

(億円)

	'21/3期					'22/3期					'23/3期					'24/3期					
	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	
日本	252	301	335	356	1,244	282	249	308	433	1,272	278	333	315	360	1,286	294					294
米州	117	149	169	181	615	127	129	126	182	564	170	207	196	228	800	241					241
欧州	68	115	140	142	464	120	107	127	125	478	127	135	198	161	621	160					160
アジア+中国	64	82	103	90	339	101	104	129	123	457	129	168	168	130	595	147					147
その他	11	18	25	19	74	15	10	12	12	48	16	18	18	16	67	15					15
合計	511	666	772	787	2,736	645	599	702	875	2,821	720	861	894	894	3,369	856					856

JVCKENWOOD

このプレゼンテーション資料に記載されている記述のうち、将来を推定する表現については、将来見通しに関する記述に該当します。これら将来見通しに関する記述は、既知または未知のリスクおよび不確実性並びにその他の要因が内在しており、実際の業績とは大幅に異なる結果をもたらすおそれがあります。これらの記述は本プレゼンテーション資料発行時点のものであり、経済情勢や市場環境によって当社の業績に影響がある場合、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。実際の業績に対し影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、(1) 主要市場（日本、米州、欧州およびアジアなど）の経済状況および製品需給の急激な変動、(2) 国内外の主要市場における貿易規制等各種規制、(3) ドル、ユーロ等の対円為替相場の大幅な変動、(4) 資本市場における相場の大幅な変動、(5) 急激な技術変化等による社会インフラの変動、などがあります。ただし、業績に影響を与えうる要素としてはこれらに限るものではありません。